

図書館の運営にかかる職員説明会

平成 28 年 5 月 18 日 (木) 18:30～

ー館長から、平成 28 年 3 月 25 日の第 4 回図書館協議会への答申内容等説明ー

- 答申案（たたき台）をもって、各委員と調整を図っていく。
 - ・ 委員が相互に意見を出せる場を望む（5～7月の間に協議会とは別の場で）
 - ・ 協議内容を記録に残し、職員に公開して欲しい。

- 7 月 28 日の第 1 回図書館協議会においても、答申案を詰める可能性はある。
 - ・ 新委員の意見も入れるのか？
 - 他の委員の了承があれば、入れることも可能。
 - 最終調整した案については、新委員にも送付する。

 - ・ 職員からの意見は反映されるのか？
 - ・ 職員が現状の案に納得していないという意思表示はできるのか？
 - 今の段階では難しいと思われる。

答申案に対する職員の意見

- ・ 地域館の充実＝人員（職員）を増やす。
- ・ 委員が答申案を受け入れるなら、それに沿った方向性を出す。
- ・ 職員間での話し合いの結果が示されていない。
- ・ 委員の疑問が解消されていない。
- ・ 専門性の職員の人員要求はするのか？
- ・ 資料は新しいものを添付して欲しい（減少傾向にあるなどの表現は考えて欲しい）
- ・ 近代史は他の自治体にはない。→別項目を立てて欲しい。
 - もともと比較の対象から外れている。
- ・ 中央も現状でギリギリの人数である。
- ・ 地域館でも行事を行うのであれば、現状若しくは人員（職員増）を望む。
- ・ 休館日（全員が集まれる日）を作ったほうが良い。
 - 以前は、休館+館内整理日があった。
- ・ 開館日数を比較の中にあげて欲しい（職員が分散する原因）。
- ・ どの程度実現されるのか？
- ・ 現状維持の答申が出た場合に、それは通用するのか？
- ・ 協議会でも地域館の職員を減らすのは厳しいと伝えている。

- ・ 委員の中でも、職員減が厳しいとは分かっている。
- ・ いいところ取りされないような答申を作って欲しい。
- ・ 職員減には言及していないのでは？
- ・ 協議会から直営を訴えるのは初めて。→ひとつの成果
- ・ 地域館のセキュリティーの問題。
 - 図書館だけの問題ではない。
 - 各セクションの整合性が取れていない。
 - 答申案に盛り込むべきである。
- ・ 指定管理を目指しているように捉えた。
- ・ 行事を職員が行っていることを加味し、人員の更なる検討を望む。
- ・ 嘱託員が辞める前に採用をして引き継ぎを行うべき。
- ・ 早急に人材育成システムの構築が必要。
- ・ 研修計画の策定。
- ・ 特別整理休館日の分散。
- ・ 協議会前に資料を職員に見せて欲しい。